第6回

一宮市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定委員会

【開催日時】

令和6年10月31日（木曜日） 10:00～11:00

【開催場所】

オリナス一宮3階 大会議室

【出席者名簿】

別紙参照

【傍聴人】

0名

【議事内容】

1. 開催挨拶
2. 一宮市立地適正化計画（素案）について
3. 今後の改定スケジュール

■一宮市立地適正化計画（素案）について

○効果指標について、都市機能誘導区域内にある標準地の公示価格の平均値とあるが、今後、標準地が見直されることはないのか。

⇒現在設定されている標準地は、商業施設が多いが用途が変わった際に変更になることがある。過去5年間を確認したところ、今回採用した19地点のうち尾西庁舎周辺にある1地点が近隣の商業施設に変更されているが、地点数に変更はない。

○商業施設や市街地が新しくできると、標準地も増える可能性があるのではないのか。

⇒標準地が大きく変わる場合には、平均価格にも影響があることから見直し検討が必要となる。

○あんしん・防災ねっとの登録件数、公式Xのフォロワー数は増えれば増えるほどよいが、2030年と2040年の目標値について増加することが想定されていないのはどういう意図があるのか。

⇒第7次総合計画では計画年度を2027年（令和9年）とし、目標値を20,700人に設定している。防災部局に確認したところ年間900人増で目標を設定しているが、それ以降については未定であるため、2027年の数値を中間、最終の目標値としている。

○第7次総合計画で2027年以降の目標を想定していない理由はあるのか。あんしん・防災ねっとの取り組みを続けるか未定ということか。

⇒現在のおんしん・防災ねっとは災害情報等のメール配信サービスであるが、新しいアプリ等への変更を検討しており、2027年以降の方針は現段階では未定である。

○最終目標の見通しがつかないのであれば、記載しなくてもよいのではないのか。2030年の中間目標までは登録数を増やしていくとし、最終目標については見直しの際に再度設定すればよいのではないのか。

⇒目標値について防災部局と調整し、年間 900 人増で目標値を決めるのか最終目標を記載しないのか検討する。

○今回、中間評価ということで計画の効果検証を行い、都市機能の集約や居住誘導の効果について確認していく必要がある。しかしながら、2020 年に策定した計画で目標年次が 2040 年と先であるため、まだまだ、実績が伴っていないといったところがある。本来ならそういう指標があるといいと思うが、現段階ではまだ作りにくいのかなと思います。今回は、総合計画にあるアンケートなど今とれる指標を駆使して評価をしていると感じた。

○評価指標の目標値について、人口密度や地価の維持といったところは意欲的な設定だと思う。魅力ある都市構造を目指すという方向であるので、引き続き誘導施策等に取り組んでいただきたい。

○自宅以外で災害に備えて対策をしている市民の割合アンケートはどのくらいの頻度で行うのか。また、公共交通の指標に関するアンケートは別のものか。

⇒市政アンケートは、毎年、市の担当部署が取りまとめて実施している。今年度は防災指針策定にあたり関連する内容でアンケートを行った。同様のアンケートは、立地適正化計画の効果検証に合わせて概ね 5 年ごとに実施する予定である。また、公共交通の指標に関するアンケートは総合計画に関連して毎年 4 月に実施している。

■今後の改定スケジュールについて

○意見なし

⇒：事務局回答

閉会